

大手金融サービス企業、Veraで 遠隔地の従業員のデータを保護

社員は、リモートワークや個人所有のデバイスを使用して企業データにアクセスする柔軟性をますます必要としています。金融サービスという規制の厳しい業界において、銀行は、機密性の高いビジネスデータを保護しながら、リモートワークやモバイルワークをサポートする強力なデータセキュリティを必要としています。

- リモートワークやモバイルワークのための柔軟なデータセキュリティ
- Pモバイル端末や個人所有の端末でアクセス・共有されるファイルを保護
- Veraとの連携により、クラウドコラボレーションツールでのデータ共有も安全に

はじめに

5万人近い従業員を抱えるグローバルな金融サービス機関（以下、当社）では、重要な財務データの安全性を確保しつつ、企業のスタッフが遠隔で仕事をすることを可能にするという課題に直面していました。

米国第10位の銀行で、クレジットカード、オートローン、リテールバンキング、コーポレートバンキングのサービスを提供しています。

情報産業である同社は、厳しい規制を遵守し、この分野を狙うサイバー犯罪から保護しながら、従業員間で自由にデータをやり取りすることが求められていました。

従来、セキュリティ技術の中心は、ファイアウォールやデータ損失防止などのソリューションによって、自社の境界内に存在する情報を保護することであった。しかし、クラウドソフトウェアやモバイルの普及により、その状況は変化しています。

モバイルワークが普及した現在、社員が企業情報にアクセスする手段や場所を制限することは、もはや現実的な選択肢ではありません。IT環境のボーダーレス化という新たな現実と直面した当社は、リモートワーカーやモバイルワーカーに権限を与える、より柔軟なデータセキュリティのアプローチを必要としていました。

境界保護の崩壊

モバイルの普及とクラウド技術の普及により、IT環境は大きく変化しています。企業ネットワーク内のデータ管理のみに依存したセキュリティ戦略は、金融サービスのような規制の厳しい業界でさえ、さまざまな脆弱性に直面するようになりました。情報部門は、最新の環境と現在のユーザー行動に合わせたセキュリティ管理を導入し、従業員、デバイス、サードパーティアプリケーション間で情報が自由に行き来できるようにする必要があります。

ソリューションハイライト

- Box、Microsoft、Dropboxとの統合があらかじめ用意
- ネイティブアプリ内でセキュアなデータに簡単にアクセスし、編集することが可能
- TLS/SSLによるセキュアな通信

ユースケース 1: Bring Your Own Device (BYOD)

社員の会社とプライベートの境界線が曖昧になりつつあります。外出先や自宅でもモバイル端末や個人所有の端末で会社の情報にアクセスするようになったためです。このような状況下、当社は、データ漏洩のリスクを軽減する適切なセキュリティ対策を施さないまま、機密データが無許可のデバイスで共有・保存されることを懸念していました。

Veraのソリューションにより、デバイスに関係なく重要なデータを管理できるようになり、情報がどこへ移動してもセキュリティが確保されるようになりました。Veraのプラットフォームでは、機密ファイルを自動的に暗号化し、ポリシーエンジンを使用して、許可されたユーザーとそのユーザーがこれらのファイルに対して実行できるアクションを管理することができます。

Veraのダッシュボードにより、情報セキュリティチームは、データが企業ネットワークから離れた後でも、そのデータと使用方法を可視化できるようになりました。

アクティブファイル保護

- AES 256ビット暗号化、TLS 1.2による安全な通信
- ファイルとともに移動するきめ細かいアクセスポリシーと、リアルタイムに更新可能なポリシー
- SaaS ソリューションは、導入が迅速で、既存のテクノロジーとの統合も簡単
- すべての重要なコンテンツへのアクセスを追跡、管理、監査

Veraのアドバンテージ

- SaaSによる、モバイルワーカーへの展開を簡素化。
- 企業や従業員のニーズに合わせたデータセントリックなセキュリティ。
- ユーザーエクスペリエンスを優先し、安全な業務の採用を全社的に促進

ユースケース2：クラウドコラボレーションソリューションにおけるセキュアなデータ共有

リモートワーカーやオフィスワーカーの生産性と安全性を高めるために、当社はDropbox、SharePoint、Boxなどのクラウドコラボレーションツールを採用しました。しかし、これらのソリューションは、金融サービスの機密データを含むすべての種類のファイルを保護するために必要な暗号化およびセキュリティコントロールが組み込まれていません。

当社は、これらのクラウドコラボレーションツールにおける機密情報の保護、ファイルの暗号化、ユーザーの情報へのアクセス管理を目的として、Veraを導入しました。Veraは、ユーザーが追加の手続きをすることなく、自動的にデータのセキュリティを確保します。その結果、社員は自分の好きなデータ共有プラットフォームを利用することができ、チームや場所を自由に行き来しながら、データのソースにセキュリティを組み込むことができるようになりました。

ソリューションのまとめ

従業員に在宅勤務の柔軟性を提供することで、優秀な人材の確保と維持、生産性の向上、コスト効率化を実現し、企業の競争力を維持することができます。

Veraを使用することで、場所、デバイス、プラットフォームを問わず、柔軟なワークフローをサポートするデータ中心のセキュリティ戦略に切り替えました。進化するユーザー要件にセキュリティソリューションを適合させることで、従業員がセキュリティ制御を回避することによる未知のリスクが発生する可能性を低減することができました。

BYOD、クラウド、リモートワークなど、IT環境のボーダーレス化が進む中、Veraのプラットフォームは、拡大する攻撃対象領域のリスクを低減します。